

KOJOH-DXへの取組

1. なぜKOJOHはDXを取り組むのか
2. DXを進める社内体制
3. 社内のDX取組実践事例
4. 社外に向けてのDXの取組

1. なぜKOJOHはDXに取り組むのか

(当社サイト「KOJOH DX経営ビジョン」より一部抜粋)

経営理念の一番に「時代の変化に対応し、IT・OA を顧客の目線で提供し続け、地元企業の発展に寄与する会社を目指す」とあります。

ここ5年では、働き方改革にいち早く取り組み、大分県のモデル企業となりました。難しい挑戦でしたが結果的に多くの企業様が今でも当社に視察に来られます。また、令和2年厚労省が制作の「中小企業働き方改革成功読本」に、成功事例として全国50社の中に当社が選ばれ掲載されました。そして、女性登用を積極的に推し進め、令和2年に県知事から女性活躍推進表彰を頂戴しました。未だ認知度の低かったSDGS関連では、いち早く3年前に推進セミナーを顧客向けに開催し、今も県内でSDGS啓蒙活動を続けております。

このように、企業変革や社会課題解決への「挑戦」が最近の当社DNAになってきました。祖業である測量機械販売や複写機販売が時代と共に変遷するなか、デジタル化をすることだけが目的ではなく、企業ビジネスモデルそのものの変革をデジタルを一つの手段として成し遂げようとする、『DX』に対し、当社は大きい可能性を見出しました。DXの考え方に基づき当社業務フローを変えていくことは勿論、地域貢献のために、県内の中小企業へDXをご案内し推進するのは当社しかいない！といった使命感を持ちました。

2. DXを進める社内体制（1）

1. 営業活動を主とするIT/OAグループを、「DXグループ」に変更
2. DXグループ配下に、DXを推進する為の「DX推進チーム」を設置
3. DXグループ配下のTXチームでは、お客様への新しい価値の提供を行い、DX推進チームでは、主に当社事例も参考にしながら、お客様自身のDX推進の為の伴走を行う

2. DXを進める社内体制（2）

4. DX認定取得企業であるリコージャパン（株）と協業し、社内のDX化の事例や知見を提供いただくと共に、お客様へのDX化への協力体制を構築しています
5. 外部の業務改善アドバイザーと連携し、社内のDX化への推進をバックアップしていただきます
6. DX認定取得金融機関の大分銀行様とのICTビジネスマッチング契約を締結しており、県下中小企業様へさらなる推進をします

3. 社内のDX取組実践事例（1）

カテゴリ	実施内容
営業戦略事業部	<ul style="list-style-type: none">クラウド型のKintoneで各種アプリを構築（見積案件売上管理、作業報告書作成アプリ）スマートワーク実施の為の各種クラウドサービスへの切替<ul style="list-style-type: none">ファイルサーバーをクラウド化（Dropbox Business）社内コミュニケーションの活性化（LINE WORKS）名刺管理や共有の効率化（PHONE APPLI）全営業部社員へモバイルPC及びスマホの貸与行先掲示板のデジタル化でどこでも共有契約書の紙から電子契約への移行（検討中）社内DX人材育成の為の勉強会の開催（企画中）社内のDXに関する情報共有会の開催（予定）

3. 社内のDX取組実践事例（2）

カテゴリ	実施内容
業務部	<ul style="list-style-type: none">• 在宅でも勤務を可能とする為に基幹システムをクラウド化（PCAクラウド）• 行先掲示板のデジタル化で在席状況を素早く確認• データ入力の手間を削減する為のAI-OCR導入（検証中）• 業務効率化の為のRPA導入（検討中）• 請求書の発行業務の省力化の為の電子請求を検討中• 複合機の使用枚数の確認作業の省力化の為の自動検針への切替推進• 業務部の改善の為に月一回のミーティングを行い部内での情報共有を実施

4. 社外に向けてのDXの取組

1. 当社社内実践事例やRICOH Japanの全国での事例を元に、お客様にご紹介しながら、お客様自身のDXへの取組に向けたヒアリングや提案を実施
2. お客様のDX推進を後押しする為に当社人材を派遣し、長期的な視点で業務のヒアリングや効果的な改善などを提案し、運用までのお手伝いをビジネスモデルとして提供
3. Kintoneのセミナーや個別提案、業務アプリの構築を行い、お客様のDX推進の第一歩（きっかけ）のお手伝い
4. 杭ナビキャラバンなど建設DXの推進活動実施